

# 週間市場レポート

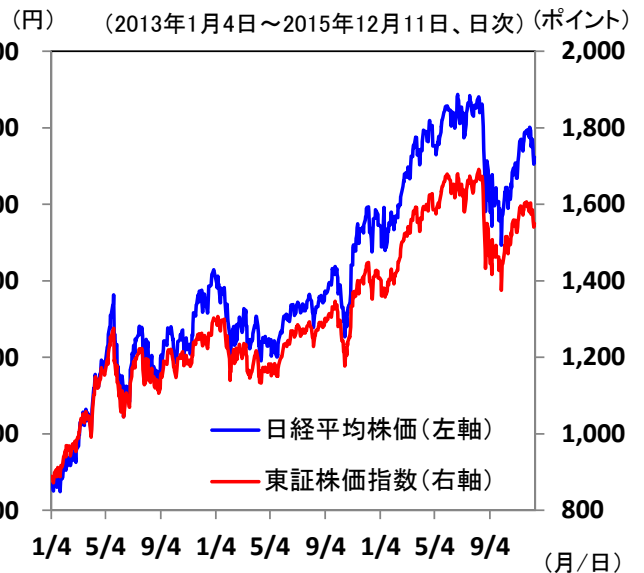
(2015年12月7日～11日)

## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

■先週の日本株式市場(日経平均株価)は、7日(月)は、前週末の米株高や円安を背景に上昇しました。その後は、原油安を受けた米国やアジアの株安を受けて売られました。市場予想を上回る国内経済指標を好感して買われる場面もありましたが、円高の進行も重しとなって売り優勢は10日(木)まで続きました。11日(金)は、米株高や円安を背景に買われたものの、翌週に内外の重要イベントを控えていることもあり、上値の重い展開となりました。(週末引け値: 19,230.48円)

■週間では、日経平均株価は1.40%の下落、東証株価指数は1.56%の下落でした。



出所:ブルームバーグのデータをもとに  
ニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

■先週の日本債券市場(10年国債)は、週初の7日(月)は、国内外の株高や30年債入札を控えて売りが優勢となり金利は上昇しました。その後は、週末にかけて日米株価の軟調な推移や円高進行などから買われ金利は低下(価格上昇)しました。ただ上値近辺では、高値警戒感もあって、更に買い上がる動きには乏しく、横ばいでの推移となりました。(週末引け値: 0.322%)

■週間では、10年国債金利は0.019%の低下でした。



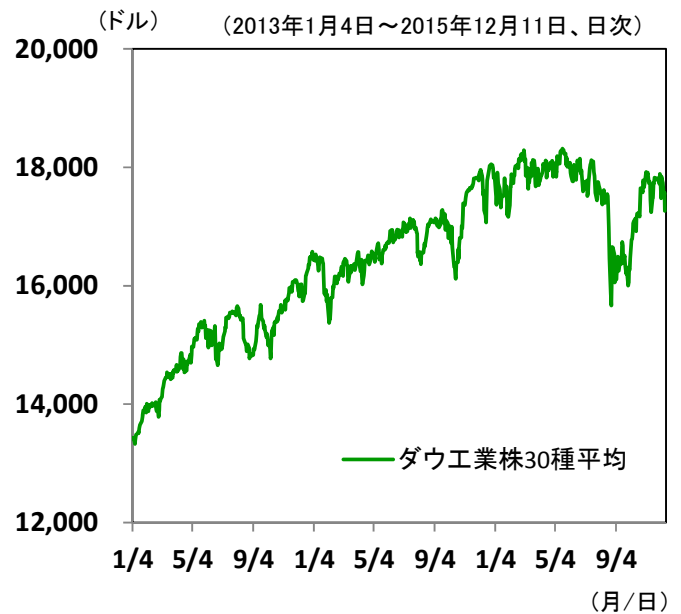
出所:ブルームバーグのデータをもとに  
ニッセイアセットマネジメントが作成

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

■先週の米国株式市場(NYダウ)は、原油価格の下落や中国の冴えない経済指標などから世界景気への警戒感が高まり、下落基調となりました。原油価格の反発や国内での大型M&A(買収・合併)への期待などから上昇する場面もありましたが、9日(水)までの3日間で約355ドルの下落幅となりました。11日(金)は、良好な米経済指標が発表になったものの、原油価格をはじめとする資源価格の下落に歯止めがかからないことで売り優勢となり、前日比約309ドル安と大幅に下落して引けました。(週末引け値:17,265.21ドル)

■週間ではNYダウは3.26%の下落となりました。



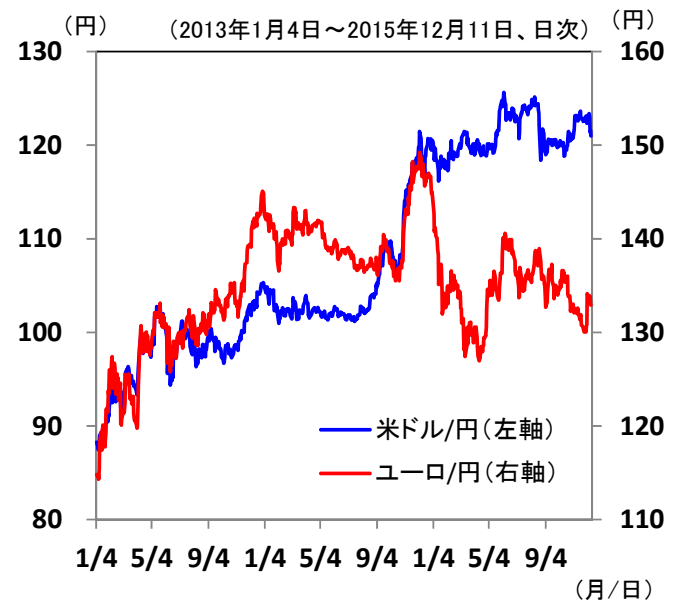
出所:ブルームバーグのデータをもとに  
ニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

■先週の米ドル/円相場は、7日(月)は前週の雇用統計を受けて米利上げへの意識が強まってドルが買われ123円半ばまで円安が進みました。しかし、その後は原油価格の下落に伴い米国株式が下落、リスク回避姿勢からドル売り円買いが優勢となり、円高傾向となりました。10日(木)は、米株高や急激なドル安円高を受けて、ドルを買い戻す動きもあってもみ合う展開となりました。11日(金)は、資源価格下落などから米株価が下落して、米ドルや新興国通貨が売られる展開となり、再び円高が進行しました。(週末引け値:121円00銭～10銭)

■週間では米ドル/円は1.71%の円高、ユーロ/円は0.77%の円高となりました。



出所:ブルームバーグのデータをもとに  
ニッセイアセットマネジメントが作成